

**(11) Japanese Laid-open Utility Model Application No. 54-79230**

(JP-U-54-79230-A)

(43) Laid-open Date: June 5, 1979

(21) Japanese Utility Model Application No. 52-154422

(22) Filing Date: November 15, 1977

(71) Applicant: Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.

of 1006, Oaza Kadoma, Kadoma-shi, Osaka 571-8501 Japan

(72) Inventor: Toshikazu Matsuura

(54) Title: Mounting Device for Furniture Door

**BEST AVAILABLE COPY**

⑫公開実用新案公報 (U)

昭54—79230

⑪Int. Cl.<sup>2</sup>  
E 05 D 7/084

識別記号 ⑫日本分類  
126 E 202.3  
53 E 16

庁内整理番号 ⑬公開 昭和54年(1979)6月5日  
6867—2E

審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑭家具の扉取付装置

門真市大字門真1048番地 松下  
電工株式会社内

⑮実 願 昭52—154422

⑯出 願 人 松下電工株式会社

⑰出 願 昭52(1977)11月15日

門真市大字門真1048番地

⑱考 案 者 松浦利和

⑲代 理 人 弁理士 石田長七

⑳実用新案登録請求の範囲

蝶番本体の軸にてその両側に回転自在に連結した2枚の翼片のそれぞれを家具側板の内側面端部と扉の端面とに固着し、蝶番本体より突出させた軸の突出部に2枚の略L字形の回動片の各一側端部の軸受筒を回転自在に套装し、この両回動片の軸受筒に連なる固定用平坦片部をそれぞれ前記家具側板の内側面端部と扉の端面とに固着し、両回動片の他側の屈曲延出片部のうち一方に突部を、他方にこの突部と弾性的に嵌合する凹部を設けて

成る家具の扉取付装置。

図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例の斜視図、第2図は同上の扉の閉状態の水平断面図、第3図は同上で使用する蝶番本体のキャッチとの分解斜視図である。

図中、1は蝶番本体、2は軸、3a、3bは翼片、4は家具側板、5は扉、6は突出部、7a、7bは回動片、8a、8bは軸受筒、9a、9bは固定用平坦片部、10a、10bは屈曲延出片部、11は突部、12は凹部である。



実用新案登録願 ( 3 6 ) 後記号なし

昭和52年11月15日

特許庁長官 殿

1 考案の名称

家具の扉取付装置

2 考案者  
住所

大阪府門真市大字門真1048番地  
松下電工株式会社内

氏名

松下 利和

3 実用新案登録出願人

住所

名称

代表者

(583)

大阪府門真市大字門真1048番地  
松下電工株式会社  
神前善一

4 代理人

住所

氏名

(6176)

大阪市北区梅田7番地の3(梅田ビル5階)  
弁理上 石田 長七  
電話大阪 (06) 345-7777 (代表)

5 添付書類の目録

(1) 明細書  
(2) 図面  
(3) 委任状  
(4) 願書副本

1 通  
1 通  
1 通  
1 通

52 154422

52 154422

方式  
審査



## 明 細 書

### 1. 考案の名称

家具の扉取付装置

### 2. 実用新案登録請求の範囲

(1) 蝶番本体の軸にてその両側に回転自在に連結した2枚の翼片のそれぞれを家具側板の内側面端部と扉の端面とに固着し、蝶番本体より突出させた軸の突出部に2枚の略L字形の回動片の各一側端部の軸受筒を回転自在に套装し、この両回動片の軸受筒に連なる固定用平坦片部をそれぞれ前記家具側板の内側面端部と扉の端面とに固着し、両回動片の他側の屈曲延出片部のうち一方に突部を、他方にこの突部と弾性的に嵌合する凹部を設けて成る家具の扉取付装置。

### 3. 考案の詳細な説明

本考案は蝶番本体(1)の軸(2)にてその両側に回転自在に連結した2枚の翼片(3a)(3b)のそれぞれを家具側板(4)の内側面端部と扉(5)の端面とに固着し、蝶番本体(1)より突出させた軸(2)の突出部(6)に2枚の略L字形の回動片(7a)(7b)の各一側端部の軸受

(1)

54-179000

筒(8a)(8b)を回転自在に套装し、この両回動片(7a)(7b)の軸受筒(8a)(8b)に連なる固定用平坦片部(9a)(9b)をそれぞれ前記家具側板(4)の内側面端部と扉(5)の端面とに固着し、両回動片(7a)(7b)の他側の屈曲延出片部(10a)(10b)のうちの一方に突部(11)を、他方にこの突部(11)と弾性的に嵌合する凹部(12)を設けて成る家具の扉取付装置に係り、その目的とするところは家具扉の閉状態を常時その他の部品を用いることなく安定に保持できる家具の扉取付装置を提供するにある。

本考案を以下図示実施例に基いて詳述する。第3図に示すように蝶番本体(1)は2枚の翼片(3a)(3b)を軸(2)にて回転自在に連結して形成してある。軸(2)の一端は蝶番本体(1)より突出させて突出部(6)としてある。(13)はキヤッチであり、軸(2)の突出部(6)に抜き外し自在に一側端の軸受筒(8a)(8b)が套装される2枚の回動片(7a)(7b)にて構成されている。両回動片(7a)(7b)は共に略L形の曲片である。一方の回動片(7a)の軸受筒(8a)と連なる固定用平坦片部(9a)には取付ねじ用孔(14a)が設けられ、

屈曲延出片部(10a)には内向きの突部11が形成されている。他方の回動片(7b)の軸受筒(8b)と連なる固定用平垣片部(9b)には取付ねじ用孔(14b)が設けられ、屈曲延出片部(10b)には外向きの突曲部12が形成されていてこの突曲部12の側方の低まった部分を凹部13としてある。凹部13にも取付ねじ用孔(14b)が設けられている。しかして第1図に示すように家具側板(4)の内側面端部に藥番本体(1)の一方の翼片(3a)及びキャッチ13の一方の回動片(7a)をそれぞれ取付ねじ(16a)にて固定し、また扉(1)の端面に他方の翼片(3b)と他方の回動片(7b)とをそれぞれ取付ねじ(16b)にて固定すると共にこの回動片(7b)の屈曲延出片部(10b)を取付ねじ(16b)にて扉(4)の内側面端部に固定して扉15を家具側板(4)に取付けてある。

この取付けにより、第2図に示すように扉(5)を閉じるときには藥番本体(1)の翼片(3b)が回転すると共にキャッチ13の回動片(7b)が同時に回転し、この回転により回動片(7b)の外向き突曲部12が回動片(7a)の突部11を屈曲延出片部(10a)の弾性に

抗して押動させてそこを通過し、通過の直後に突部(11)が復帰して凹部(12)と弾性嵌合し、扉(5)の開き方向の回転を阻止して閉状態に保持するようになる。重さや厚さが違った扉(5)を取付ける場合には、乗番本体(1)はそのままにして扉(5)の重さや厚さに応じた大きさ及び保持力を有するキヤッチ(13)に交換する。

本考案は乗番本体の両端片をそれぞれ家具側板の内側端部と扉の端面とに固着し、乗番本体の軸の突出部に2枚の略L形の回動片の各一側端部の軸受筒を回転自在に套装すると共に両回動片の固定用平坦部をそれぞれ家具側板の内側面端部と扉の端面とに固着しているので、乗番本体及び両回動片によつて扉を家具側板に開閉自在に取付けることができるものであり、略L形の両回動片の屈曲延出片部のうちの一方に突部を、他方にこの突部と弾性的に嵌合する凹部を設けているから、扉を閉じたときに両回動片の突部と凹部との弾性嵌合によつて扉の開きを阻止でき、ラッチや錠類その他の保持部品を別途に用いることなく扉を閉状

態で安定に保持できる利点があり、しかも蝶番本体の軸の一端を突出させてその突出部に軸受筒を套装して両回動片を蝶番本体に組み込んでいるから、この両回動片は蝶番本体に対して着脱自在であつて、回動片のみを交換するようにすると扉の重さや厚さに応じて適宜の保持力をもたせることができるようになる利点がある。

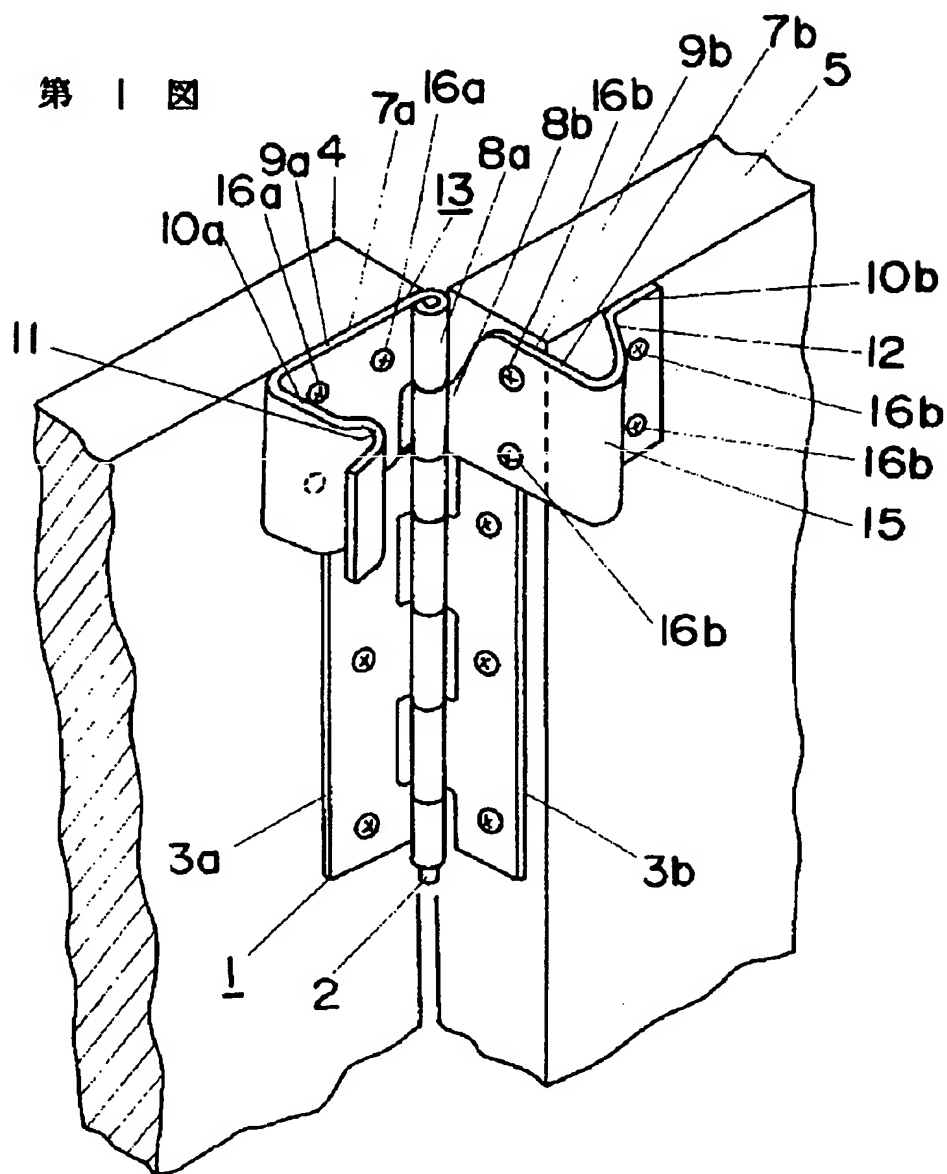
#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例の斜視図、第2図は同上の扉の閉状態の水平断面図、第3図は同上で使用する蝶番本体とキヤッチとの分解斜視図である。

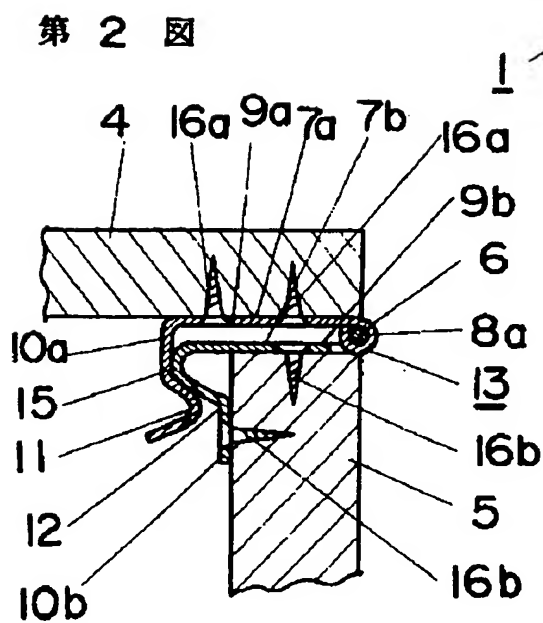
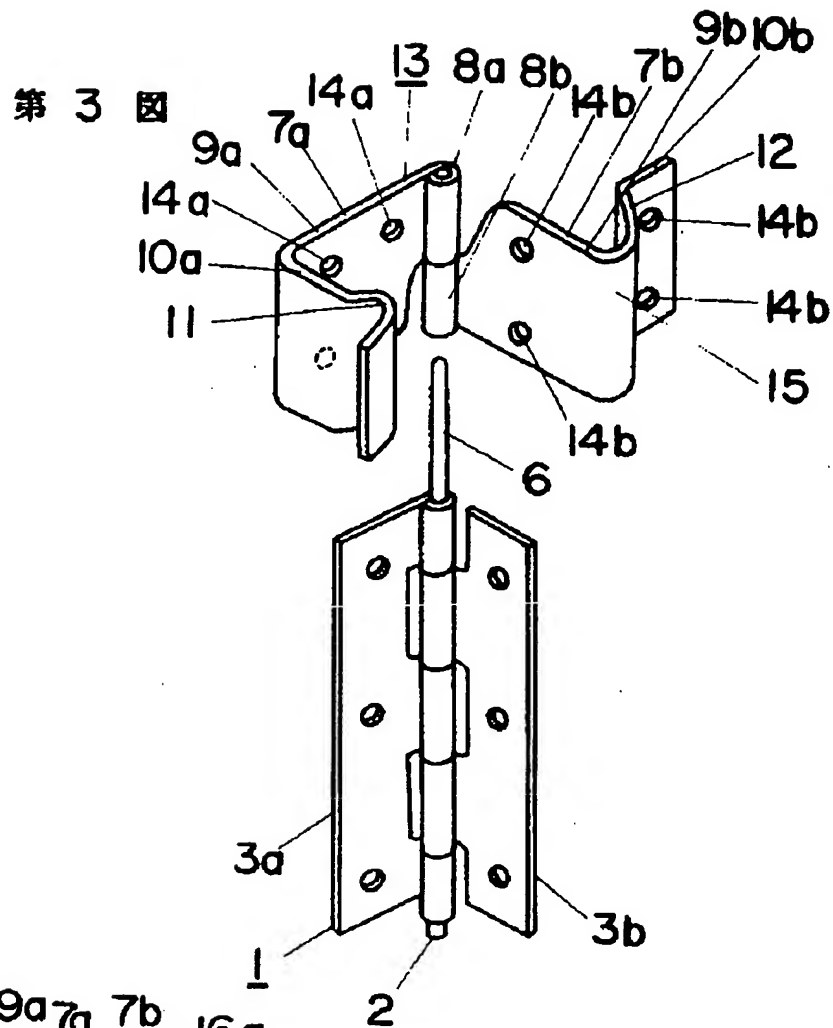
図中(1)は蝶番本体、(2)は軸、(3a)、(3b)は翼片、(4)は家具側板、(5)は扉、(6)は突出部、(7a)、(7b)は回動片、(8a)、(8b)は軸受筒、(9a)、(9b)は固定用平組片部、(10a)、(10b)は屈曲延出片部、(11)は突部、(12)は凹部である。

代理人 弁理士 石 田 長 七





79230 1/2



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**